

はしらざわ

第4号 平成三十一年三月一日発行
 発行 柱沢地域まちづくり振興会
 編集 総務企画部会
 問合せ先 柱沢地区交流館 電話五七五〇八六〇

五年目に向けて

柱沢地域まちづくり振興会長 菅野 政一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は災害の多い年だったように思います。

自然災害だけでなく、事件事故等も多かったように思います。また年末には大雪で久しぶりに雪の中での正月となりましたが、平成最後の元日は穏やかな年明けとなり、暮れに積もった雪もほとんど解けて暖かい三が日になり、県内の初詣客も多かったようです。振興会も発足以来五年目を迎えますが、振興会の事業で少し「マンネリ化」しているように思えます。今年はいろんなアイデアを取り入れて、地区の皆さんが多く参加できるように進めてまいりたいと思いますので今年もどうぞよろしくお願いいたします。



平方部の地域活動について

菅野 正平

我が平方部では毎年四月中旬に行われる豊年神社祭礼が、伊達神社の大槻宮司を招いて地域の安全を祈願していただき終了後には直会を開き地区内の親睦の輪を広げています。

また環境整備においては毎年五月頃に育成会の方々と協力して「コスモス」の種まきを行い秋にはすばらしい景観となっております。

また毎年六月と九月には伝樋川、大柱線地区内の草刈を行い水路等の整備を行っております。

これからの行事を次世代へつなげて平方部を住みやすい環境づくりに邁進して行きたいと思っております。

私自身、三月末日に平自治会副会長を退任しますがこれからも平方部の繁栄のため微力ながら協力して行きたいと思っております。





健康都市づくりを旨とする伊達市の構想に基づき教養事業においては口腔ケアに於ける健康管理の講演を実施いたしましたところ、沢山の質問意見等が出て健康に関する意識が非常に高い事を再認識した講演となりました。

今後も地区住民の方々が笑顔で集まれて健康的な地域を目指して活動していきたいと思っておりますので来年度もご支援よろしくお願いいたします。

平成三十年度地域づくり部会事業所感

地域づくり部会長 大河原 明

今年で四年目となった地域づくり部会主催のしめ縄作りと餅つき大会には今年度も大勢の参加者と婦人会と各役員の方々の協力を得て大盛況のもと成功を収める事が出来ました事に深く感謝申し上げます。



伊達市長賞に大橋睦さん

総務企画部会長 野田 繁夫

第二回紅屋峠千本桜写真コンテストは五月二十二日に柱沢交流館で行われ県内各地より百二十九名の応募がありました。厳正な審査の結果伊達市長賞には大橋睦さんの「さんぼみち」が選ばれました。

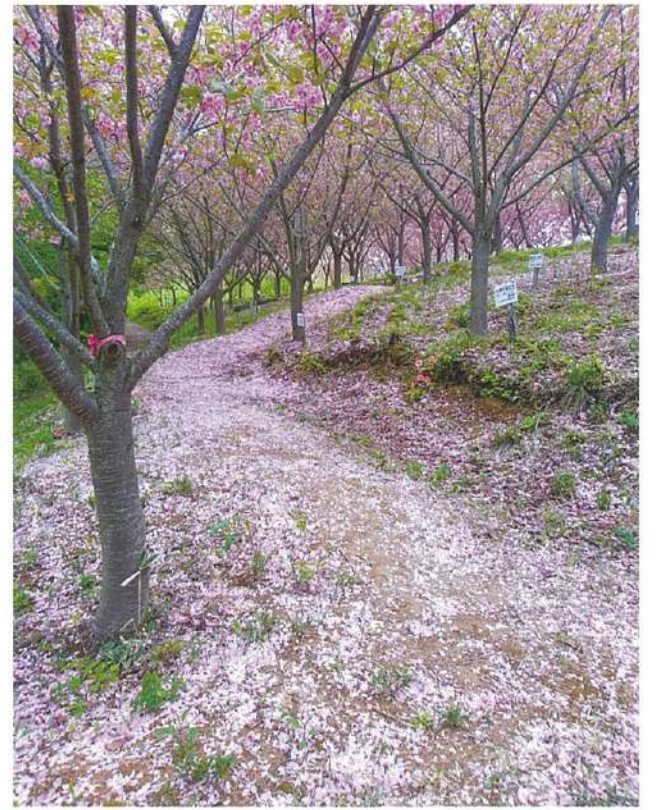
その他の受賞者は以下のとおりです。

柱沢地域まちづくり振興会長賞には野田潤様の「ライトアップ」紅屋峠千本桜の会長賞 大橋亨様の「こもれび」紅屋峠千本桜の会顧問賞 市川明様の「満開」福島民友新聞社賞 鈴木孝二様の「夜空に浮かぶ」福島民報社賞 菅野美子様の「初めてのお花見」柱沢写真倶楽部長賞 山崎聡子様の「ゆつくりと歩いていこう」審査委員長賞 松浦兼史様の「母なる桜につつまれて」が選ばれ、その他入選五名佳作十名の作品が選ばれました。

今年も五月に第三回紅屋峠千本桜写真コンテストを予定しておりますので地区内の皆様のご応募をお待ちしております。



ライトアップ (野田 潤)



さんぼみち (大橋 睦)



満開 (市川 明)



こもれび (大橋 亨)

暮らしの保健室の開催

柱沢地区交流館 事務 鈴木

平成三十年四月より、はしらざわ憩いの時間を利用しての、暮らしの保健室を毎月第三木曜日に開催してきました。

開催の趣旨は、地域に住んでいる方が、お茶を飲みながらゆったり過ごせて、交流の場として活用できるようにしていきたいと思っております。

平成三十一年度も継続して開催しますので、みなさんの参加お待ちしております。

プログラム

- 10:00~10:30 お茶を飲みながら歓談
 - 10:30~11:30 ミニ講座 (専門担当者をお迎えしてお話し)
 - 11:30~12:00 お茶を飲みながら歓談
- ※送迎希望の方は、交流館に前日までに連絡があれば、担当者(ファミリー職員)がお迎えに行きます。



第三回柱沢ウォークラリーについて

健康福祉部会長 橋本 憲三

第三回柱沢ウォークラリーは十月二十七日に開催され、今回は所沢方面を歩きましたが、雨天にもかかわらず三十名の参加がありました。コースは柱沢交流館を出発し毘沙門天様の内 新井山配水池 新井山 明福院の道順で真っ赤に色づいた柱沢特産の蜂屋柿を眺めながら約二時間かけて歩き十一時頃柱沢交流館に戻りました。

選挙のため交流館が使用されていいため弁当とお茶を渡して解散しました。



第二回柱沢地区防災訓練

環境防災部会長 野田 昭

十二月二日第二回防災訓練を実施しました。寒い中約百名の方に参加いただきありがとうございます。

「柱沢地区の水害について」と題して県危機管理部災害対策室の渡邊勲様による防災出前講座を開き、笑いとユーモアを交えて参加者に語りかける話は大変好評で災害・非難及び日頃の訓練について学びました。

講話の前に災害時に大勢の避難者に同じ食事を同時に提供したいと開発された「災害救助炊飯袋」を使って家族でも作れるように全員が、一台の線までもち米と水を入れ名前を書いて作り、講座終了後に試食しました。

ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。第三回・第四回と続けられますように皆様のご協力を今後ともよろしくお願い致します。



第三十三回柱沢地区文化祭

柱沢地区文連協会長 柳沼 吉隆

柱沢地区文化祭は十月二十一日に開催されました。

園児・小学生の作品はもちろん一般からの出展を含め三百八十六点の作品が展示されました。小学校の学習発表会やバザーの同時開催もあり、多くの方々の参観がありました。それ以上に、当地区の文化祭は資料の展示だけでなく、写真展や吊るし雛そして寄せ植え・ハーバリウムなど手作りの作品が多く、このことが皆様方に好評価を得、惹いては参観者を多くしているものと思います。

今年の秋も三十四回目の文化祭を予定していますので、皆様多数の出展をお待ちしております。



編集後記

はしらざわ広報誌第四号の発行に伴いご協力頂いた役員並びに関係者各位に感謝致します。

特に、婦人会の皆様には防災訓練等に対して食事の用意をして頂きありがとうございます。また、編集に当たり企画部の皆さんご苦労さまでした。